

長泉さわやかハイキング山行報告書

文＝秋山 写真＝秋山・後藤

山行番号 NO. 1997-2
日時 2014. 6. 15 (日) 無風・晴れ
山域 ハヶ岳・権現岳 (2715m)
コース 長泉発 5 : 00 - 観音平発 8 : 06 - 雲海 8 : 50 - 押手川 9 : 26 - 青年小屋
10 : 30 - 権現小屋 12 : 00 ~ 40 - 権現岳 12 : 51 - 三ツ頭 13 : 38
- 木戸山 14 : 21 - 観音平 15 : 45 - 小淵沢「道の駅」
標高差 上り＝観音平駐車場 1560m～青年小屋 2380m～権現岳 2715m＝1155m
下り＝権現岳 2715m～三ツ頭 2580m～観音平駐車場 1560m＝1155m
参加者 L 後藤、浜道、峰田、土屋、長谷、室伏、水落、秋山＝以上 8 名
参加費 3,500 円

山行報告書を作るのは今回初めて。あいまいな記憶に基づいている部分もあるので勘違いがあれば指摘願いたい。

当初の山行計画では毛無山の予定であったが、後藤リーダーの提案で山域が変更となった。毛無山については今年のGWに歩いているので異論はなく参加表明をした。

当日は梅雨の中休みで晴天。車両は後藤リーダーと浜道さんが提供し、私は浜道さんの車両に乗ることになっていた。当日乗車するメンバーの住まいの関係で、いつもの集合場所ではなく自宅の近所にある病院の駐車場になった。これはかなり助かる。自宅を出る時間を10分以上節約できる。

5 : 00 浜道さんのクルマに乗車。既に水落さんとゲストの千葉さんが乗車していた。集合場所の第二東名の長泉沼津 IC へ向かう。ここで後藤さんのクルマを待つ。まもなく後藤リーダーのクルマがやってきたので、合流して中央高速の小淵沢 IC へ向かった。

小淵沢 IC へ向かう車中の話し合いで、4名の別働隊を編成することになったので、当初予定の山域に向かうのは私を含め8名となった。

富士見平高原ゴルフ場で別働隊4名を下ろし、8名は観音平駐車場に向かった。

8 : 00 観音平駐車場(1560m)に到着。既に駐車場は満杯で、2台は路上駐車となった。各自登山準備を開始。速やかに登山道に向かった。初めはなだらかな勾配の樹林帯が続く。厳しい山行になることがわかっていたので、この間に自分の体調、或いはザックやシューズ等の装備の調子を確認しておいた。

8 : 50 雲海 (1880m) に到着。南側に富士山がバッチリ見えた。勾配も徐々にきつくなってきた。下山してくるハイカー数人にすれ違ったが、大きなザック (50L?) を背負った女性がいた。石や木の根で歩きにくいのに、スイスイ下山して行った。

9 : 26 押手川 (2100m) に到着。ここで小休止。ここからいよいよ勾配が厳しくなる。ここを左手に進めば編笠山頂上に向かう道、右手に進めば編笠山の東斜面を巻いて青年小屋に向かう道となる。我々は右手を進むことになる。勾配が急な上に石が多くて歩きにくい、足許を確認しながら一步一步確実に登った。いつの間には先頭から離れてしまったが、焦って事故ったら元も子もない。弱気の虫も囁くが、ここまで来た

ら進むしかないので頑張った。

10:30 先頭から遅れて青年小屋(2380m)に到着。ほぼ快晴の空。左手には編笠山が見えた。右手にはギボシ。

時間が押しているのでトイレ休憩をただけで出発。しばらくハイマツの間を歩くと



観音平駐車場（登山口）



雲海から見た富士山



（次回は登ってみたい）編笠山



ギボシ

急勾配のガレ場が待っていた。つづら折りに登って行く。富士登山をしている気分だ。のろし場では野辺山と清里が見えた。この先のギボシには鎖場があった。高度感があるが、鎖に体重を預けないように注意して通過。東ギボシに差し掛かった時に、メンバーの一人が貧血を起こした。彼女の回復を待つ間、しばしの休憩をした。権現小屋は目の前に見えており、あと一息。万一のことを考えて、後藤リーダーがロープを出して自分と彼女を繋いだ。彼女のザックは浜道さんが背負った。（小屋から水落さん）ここから先は尾根道を下るだけ。登山道も混み始めたが、頑張ろう。

12:00 権現小屋(2670m)に到着。振返ると、尖がったギボシが見えた。ここで昼食。おにぎりを食べていると、小屋から猫一匹が出てきた。どうやら野良猫らしい。その猫は痩せてはおらず、むしろ太って肥えていた。誰が餌を与えているのだろうか。短めの昼食タイムを済ませ権現岳の頂上に向かった。15分ほどで頂上を踏んだが、頂上は岩の上にあるので狭い。証拠の集合写真を手早く撮って撤退、三ツ頭方面に向かった。途中で鎖場があったが、特に問題はなし。若干のアップダウンがあるが、基

本は下り坂。落石を起こさないように気をつけて下った。

13:38 三ツ頭 (2580m) に到着。ここで2回目の記念撮影。後藤リーダーによる山座同定があった。予定ではまだ2時間以上、長い尾根道下らなくてはならない。登山道は歩きにくいというほどでもなかったが、「転倒事故は下りで起きる」という言葉を思い出しながら歩いた。

15:20 八ヶ岳横断歩道分岐に出た。木戸山から約1時間、長い下りで膝に疲れが来ていた。相変わらず先頭から遅れていたが、ゴールの観音平駐車場までは目と鼻の先、頑張ろう。道はわかりやすかったが、1箇所だけ、枯れ沢を渡る際に気をつけないと道を見失うかも知れない場所があった。

15:45 観音平駐車場に到着。別働隊4名は既に到着をしていた。笑顔で挨拶をしたかったが、正直言って余裕がなかった。それほどに疲労していた。皆のペースに付いて行く事が出来ず、ずっと遅れ気味であったが、自分なりにベストは尽くした。達成感も味わえた。無事に一日過ごせたことに感謝したい。

そして御一緒した、さわやかハイキング参加の皆様、ご苦労様でした。

下山後はいつものように日帰り温泉 (今回はスパティオ小淵沢) に立寄って汗を流した。



権現岳頂上



三ツ頭



放置されていた一眼レフ



観音平駐車場 (ゴール)

その他の記述（L後藤）

1. 中央道で話が盛り上がり、小淵沢ICをパスしてしまい、諏訪南ICで戻った。大昔、豊科ICをパスしたことがある。長い登山活動で二回目の珍事。
2. 朝、観音平は物凄い数の車。ところが下山するとガラガラ。編笠山までのパーティーも多いようだ。
3. 労山の清掃ハイクを兼ねた山行。ただ、ゴミは飴の包装紙・目印赤テープくらいで、殆ど無かった。
4. 青年小屋に「遠い飲み屋」の「赤ちょうちん」が下がっていた。（笑い）
5. ギボシの上りでバテバテの中高年のオバサン。仲間に荷物も持って貰っていた。Lらしき方は見るからに素人。最近、この手の方が多い。もっと低山で訓練です。
6. 権現岳小屋番は、コタツで本を読む感じが良い青年。（こっちが青年小屋??!!）。昨年は、悪天候で昼食は小屋だったが、休憩料をどうしても取らなかった。
「そんなこともありました」とお礼を言った。今年も、「そうですか」と聞けば、同じ答えだった。最近では、下手をすれば外で休憩しても有料の小屋もある。登山者のために頑張っている小屋。有難い。
7. 下山ルートの木戸山コースは、傾斜が穏やかな分、相変わらず長い。へろへろで観音平着でした。皆さんは、頑張ってよく歩いた。
8. 下山時、カモシカを一頭見た。
9. 観察した主な花（全体的にまだ少し早かった）
蓮華躑躅・黄花の駒の爪（上部はハヶ岳黄堇（すみれ）・襦取草・嶺桜・駒草（葉のみ）・黄花石楠花・深山苧環（おだまき）・白山一華（いちげ）・岩鏡・延齡草・弟切草（おとぎりそう）・色丹草・御前橘・苔桃



ギボシの上り（後方、左が編笠山・右が西岳）



権現岳頂上



三ツ頭（後ろは、左から権現岳・阿弥陀岳・中岳・硫黄岳がちょっとで赤岳）



三ツ頭



冬との比較（2014.03.09）



ギボシと編笠山



権現岳頂上